



施設キュウリの部で最優秀賞に輝いた佐藤和浩さん㊦

2/22

## 産地の維持 拡大目指して JAきゅうり部会

第9回通常総会を開きました。令和5年度は、猛暑の影響や需要回復などから高単価で、販売金額は2億3525万円（前年比108%）となりました。令和6年度は、品質向上や長期出荷の実現、面積の維持拡大に取り組み、販売金額2億6125万円を目指します。

2/27

## 和牛の生産率向上を目指す JA和牛生産部会



改良増殖の部で表彰を受ける千葉文昭さん㊦

第10回通常総代会を開き、支部表彰の室根支部をはじめ販売実績が優秀な部会員を表彰しました。令和6年度は、母牛の更新や生産率の向上など優良牛の安定供給と有利販売に取り組みます。任期満了に伴う役員改選では部会長に千葉誠さんが選出されました。

2/22

## 乳質改善で乳価の獲得を JA酪農部会



乳質向上共励会個人の部名誉賞を受賞した須崎智博さん㊦

第10回通常総会を開き、令和5年度の販売金額が10億6903万円、平均単価は123・82円（前年比12円35銭高）となり乳質改善目標の達成を確認しました。令和6年度も乳質向上に努め、任期満了に伴う役員改選では千葉秀一部会長が再任されました。

3/3

## オール花泉の純米酒誕生 上油田酒造りプロジェクト実行委員会



完成した純米酒「鬼渡」完成を喜ぶ関係者

花泉町上油田地域で、米から栽培して造った清酒が完成しお披露目を開きました。岩手県オリジナル酒造好適米品種「吟ぎんが」を12ヶ作付け、地域住民が手作業で栽培し、磐乃井酒造に醸造を依頼。美渡神社の鬼渡大明神にちなんで「鬼渡おにわた」と名付けられました。

3/7

## 凍霜害など気象対策推進 JA果樹部会



議案に沿って慎重に進める総会

令和5年度果樹販売実績検討会・第4回通常総会を開きました。令和5年度は春先の凍霜害や夏場の高温の影響を受けたことから、令和6年度は気象対策や有望品種・地域オリジナル品種の推進に取り組むことなどを決め、新部会長に菅原隆治さんを選任しました。

3/2

## 最優秀賞に 佐藤さん輝く

第21回いわて南牛枝肉研究会を開き、最優秀賞には佐藤良さん（花泉）の去勢牛が輝きました。去勢18頭、雌6頭が出品され、東京食肉市場で行われたせり・販売では、5等級に21頭、4等級に3頭が格付けされ、全体的にも販売単価が高く、好成績を収めました。



入賞された皆さん

3/6

## ブランド力の強化を図る JA花き部会



最優秀賞を受賞した千葉文彦さん④

第10回通常総会を開き、令和6年度は、気候変動対策やチャーター便活用による輸送コスト低減、部会情報メール活用などに取り組み、売上額を4億400万円を目指します。任期満了に伴う役員改選では、部会長に佐藤和威治さんを選出しました。

3/13

## 金色に輝く出来秋願って JA「金色の風」栽培研究会



豊穡祈願を終えた種もみを受け取る佐藤正弘会長④

岩手県オリジナル水稲品種「金色の風」の豊穡祈願法要を命名の由来にもなっている平泉町の中尊寺で行いました。奉納した種もみが祭壇に供えられた後、中尊寺の僧侶により「金色の風」の豊作と農作業の安全を祈願しました。令和6年度、JA管内では70袋で作付けされます。

3/8

## 生産量確保で産地振興を JA椎茸部会



表彰を受ける高橋正志さん④

第10回通常総会を開きました。令和5年度の販売金額は3784万円（前年比100%）。令和6年度は、全体で7375万円（うち系統販売額4360万円）を目指し、生産量の確保と品質向上に取り組み、産地の振興と会員の経営支援を図ることなどを決めました。

3/21

## 全国大会での活躍に期待



全国大会での活躍を期待し激励

地域貢献活動の一環で、第55回全国ミニバスケットボール大会に出場する山目ミニバスケットボールスポーツ少年団に金一封とりんごジュースを贈りました。JA佐藤鉦一組合長は、「全国大会では普段の練習の成果を十分に発揮して頑張ってください」と激励しました。